

道しるべ

地域の一員として、一人一人が輝き、進んで社会参加できる児童生徒の育成

小学部6年生 作業学習体験



中学部入学に向け、小学部6年生が中学部の「風」「紙」「木」「土」の四つの工房を回って作業学習の体験をしました。初めての体験に緊張した様子も見られましたが、先輩たちに優しく教えてもらい、真剣に話を聞いて取り組んでいました。体験後、「僕は〇〇の作業をやりたい」と希望を話したり、先輩たちの話し方や働きぶりに、「かっこいい!」と憧れの気持ちを抱いたり、4月からの中学部生活に向けて見通しをもち、期待感をふくらませる貴重な機会となりました。

～中学部3年希望体験現場実習～

12/13(火)～16(金)の期間で、中学部3年生を対象に希望体験現場実習を行いました。事前の実習先挨拶、実習当日の同行など保護者の方々からたくさんのご協力をいただき、無事終えることができました(事前挨拶については、高等部の実習でも同様に保護者同行となります)。生徒たちにとっては初めての体験で、緊張している様子も見られましたが、これまでの作業学習や校内実習等で身に付けた力を発揮しようと、一人一人真剣に取り組んでいました。また、実際の職場の雰囲気を肌で感じることで、「働く」ことをイメージすることができたのではないのでしょうか。挨拶や返事、言葉遣い、身だしなみ、規則正しい生活リズムの継続など、日頃からの基本的な生活習慣・態度の積み重ねにより、スキルアップが図られることだと思います。「よりよく働く」ために、「よりよい自分作り」を心掛けてほしいと思います。



高等部冬季希望現場実習



洗車後の拭き上げ作業～秋田ダイハツ土崎店～



苗ポットへのシール張り～湯上天王つくし苑～

冬季休業期間を利用して1年生の希望者7名が現場実習を行いました。1～4日間と短い実習期間ではありましたが、それぞれが緊張感をもち、充実した実習を行うことができました。また、冬期間ということで、感染症予防などの体調管理や、公共交通機関を利用する際のダイヤ変更への対応など、職場での作業以外にも注意すべきことがたくさんあることを知る機会となりました。

ある実習先からは『挨拶は仕事をする上での基本』というお話をいただきました。その気になればいつでも挨拶ができると思っていても、急には難しいものです。家でも学校でも『挨拶は先に自分から』できるよう普段から心掛けていきましょう。

青年学級（ボウリング大会）

2月11日（土）、秋田市広面の『ロックンボウル』でボウリング大会が開催されました。在校生や本校卒業生、他校の卒業生、保護者の方々、職員の41名が参加し、ゲームが始まると歓声があがり、熱気に包まれました。また、久しぶりに会う友人や職員と話をし、笑顔で過ごしている姿も見られました。

卒業すると、余暇活動や仲間と集う機会が少なくなりがちです。青年学級では、今年度から2回のパソコン教室を新たに開催し、余暇活動の場を提供できる機会を増やしています。仕事などの悩みや困っていることがあれば、相談できるいい機会でもありますので、ぜひ積極的にご参加ください。

高等部の生徒のみなさんには案内を配付していますので、在学中に参加して、青年学級の雰囲気ぜひ味わってみてください。



ちょっとお耳に！④

～給料の使い方～



この冬休みに、昨年度の卒業生の就労先である企業を訪問してきました。学校を卒業して1年が過ぎようとしていますが、各職場で戦力になっている姿をみて、ハローワークやウェルビューいずみ就業・生活支援センターの方とひと安心し、ほっと胸をなでおろしました。また、心配された雪道の通勤も問題なく、採用から無遅刻無欠勤の卒業生もいました。

各職場を訪問してみて課題となっていることを挙げるとすれば、「給料の使い方」でした。今は、どの職場も現金支給ではなく、通帳への給与振り込みとなっています。そんな中、「初給料をみたことがない」、「自分の通帳にいくらあるか分からない」、「親からお小遣いをもらって生活している」など、実習生の延長上にいる卒業生もいました。一方で、「毎月の給料で自分の趣味の物を買っている」、「給料があるので、多少つらいことがあっても仕事を頑張ることができる」という卒業生もいました。

給料の使い道について、企業は教えてくれません。働くことを継続するためにも、給料の使い方について、在学中の指導はもちろんのこと、卒業後の保護者の見届けや協力が必要だと感じました。（小川）